



2024年度春学期 授業シラバス【配付用】

授業科目名	中国語表現法 1	開講学科	全学科	1 単位	選
授業担当者	豊嶋 裕子	開講時間	木 曜日	4 限	

【キーワード】 リスニングと会話 表現力 中国語簡体字の入力

【他科目との関係】

先修条件はありませんが、入門1, 2は修了しておくのが望ましいです。また、あわせて初級、会話初級、講読初級、検定初級などの科目を履修することで、効率よく語学力を高めることができます。

【科目の要旨・概要】

「読む力・書く力・聞く力・話す力・文法力・語彙力」に関し、ある程度基礎固めの出来た学生を対象とします。平易ではあるがまとまった内容の文章を書き、スピーチし、あるいは、ある程度内容のある中国語の原文を分析して意見を言うことが出来るよう訓練します。論理的に文章を構成し、分析するためのしっかりした文法力と語彙力を身につけてゆきます。自ら考える力を鍛え、自らの考えをまとめ表現するという成し遂げ力（実行と継続力）を培い、総合的な外国語運用能力を身につけてゆきます。

授業は、パソコンおよびインターネットを利用し、中国語研究室のHP(ホームページ)「ちゃいに一ずらんど」(<https://sl.lec.u-tokai.ac.jp/~chinese/>) に掲載する以下の教材を使用して進めてゆきます。必要に応じて関連する中国語サイトでの情報検索・収集なども適宜行ってゆきます。

1) 「中国語表現法1 今週の課題」欄：

「A本文・リスニング問題」400字程度の日記文と音声、内容判断問題

「A単語を覚えましょう」Aの語句解説

「B会話・ききとり」Aと関連する内容の平易な日常会話と音声

「B会話の暗唱文10」Bの中から10文抜粋した暗唱課題

2) 「今月の問題(中検4・3級類題)」欄： 毎月1回「今月の問題」を出題し、メールで解答を送って貰い、添削します。提出期日や注意点等は、1)の欄に掲載します。

○授業中に発音された中国語の文を聞き取り、windows用ワープロソフトを用いて、中国語と日本語の混在文書の作成練習を行います。日本ではピンインから簡体字に変換する入力方式が主流ですので、この方式を練習します。

○学習・入力練習した内容は、指定した部分の暗唱や書き取り、中国語での質疑応答、課題発表など、次の回に小テストで学習成果を確認します。

【アクティブラーニングによる学修内容】

授業ではアクティブラーニングも重視します。履修生が自ら能動的に取り組めるように、テーマに合わせたグループワークやプレゼンテーションなども交えながら、主体的に学習に参加し、外国語運用能力を高められるよう、アクティブラーニング的要素も取り入れてゆきます。

【本科目の学修成果目標（ラーニングアウトカム）】

授業を通じ、主に中国語の「話す、聞く、文書を作成し発信する」力を身につけることを目標とします。ピンイン入力は正確な発音が身につけているかの自己確認にもなります。発音練習・矯正にも力を入れてゆきます。

具体的な「到達目標項目」は以下のとおりです。

1. 中国語を正確に聞き取ってピンインで入力できる。
2. 自分の知っている単語や文法を使って伝えたいことを中国語で表現できる。
3. 文章や相手の言葉を正確に内容把握し、日本語に翻訳できる。
4. 学校や社会で使える日中混在文書作成の技能を身につける。

【成績評価の基準・方法】

成績評価は原則として全体の3分の2以上の出席回数があることを前提に行います。

1. 最終テスト (100点満点) × 0.4 (40%)、
2. 小テストの平均点 (100点満点) × 0.3 (30%)、
3. 平常点 (授業中の応答を、発音・訳・予習の有無等によって毎回0~10点で評価し、その合計を100点満点で換算した点数) × 0.3 (30%)

出席していても指名に全く応答できない場合には0点になるので注意。(個別の障害等についてはご相談下さい。)

1~3の合計(小数点以下は四捨五入)によって、次のような評価を受けます。

合格) S: 90-100点、A: 80-89点、B: 70-79点、C: 60-69点、

不合格) E: 59点以下、/ : 評価不能(最終テスト未受験、欠席回数過多の場合など)

【課題・試験・レポート等のフィードバック方法】

筆記の小テスト等は採点后、原則として実施の次の回に返却し、解説を加えます。評価によっては再提出を求める場合があります。

【履修上の注意点】

①授業形態: 「面接」(ただし、1週目のみ遠隔授業を実施します。)

②初回授業の参加方法:

4/11(木4)のみZoomを使用して遠隔で行います。事前に通信環境を整えておいて下さい。

<https://us02web.zoom.us/j/89001579013?pwd=TlBwczRxUTd3anNCaEx5Y2M3Sis0QT09>

ミーティングID: 890 0157 9013 パスコード: thu1520

* 2週目以降は教室で面接授業を行う予定です。

③毎回の授業を極力休まないよう、自己管理に努めて下さい。

【シラバス配付方法】

初回の授業にシラバスを印刷、またはPDFをダウンロードして、持参して下さい。

【教科書】

購入教科書なし

【参考図書・その他の教材】

【授業用テキスト】上記HP (<https://sl.lec.u-tokai.ac.jp/~chinese/>) にファイルを掲載します。各自印刷してご使用下さい。授業中の参照用に『キャンパス中国語』を持参すること。

【推薦辞書】『プログレッシブ中国語辞典 第2版』、『プログレッシブ中国語辞典コンパクト版』、『中日辞典 第3版』小学館／『中日辞典 第三版』講談社／『超級クラウン中日辞典』、『クラウン中日辞典小型版』三省堂／『中国語辞典』白水社など

【担当教員への連絡方法】

*メール連絡の際は「曜日・時限、科目名、学番・氏名」を明記して下さい。

豊嶋裕子(トシマ ユウコ) : yukotosh@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

オフィスアワー: 木曜12:45~13:15 / 1号館2階1M-204第3研究室

*授業での配慮が必要な学生は、以下の大学ホームページを参照し、問い合わせをしてください。

<https://www.u-tokai.ac.jp/about/support/>

【授業スケジュール】

回 (日時)	主題と位置付け	学習方法と内容	予習・復習
第1回 (4/11) Zoom	授業説明、既習 内容の確認	シラバス確認。授業内容・使用 機器・履修上の注意などの説 明。 『キャンパス中国語』の既習内 容を確認。	予習:中国語研究室HP「ちゃいに一ずらんど」 (https://sl.lec.u-tokai.ac.jp/~chinese/)に接 続し、「中国語表現法1今週の課題」欄の第1課 の教材を印刷し、目を通しておく。基本的な発音 が不確実になっている場合は、「入門・発音編」欄 も活用し、再確認しておく。(50分) 復習:各自のPCに中国語IME(入力システム)を導 入し、簡単なあいさつを入力してみる。(50分)
第2回 (4/18) 面接授業	第1課「自己紹 介」 1 A本文の学習	語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 実際に聞き取り入力しながら 作業手順の確認と練習。	予習:「A単語を覚えましょう」で語句の意味を確認 し、さらに分からない語句があれば辞書で調べ る。「A本文」の音声を聞いて発音練習し、日本 語訳案を作成しておく。(50分) 復習:「A単語を覚えましょう」の重要語句をノートに 写し、簡体字・ピンイン・意味をセットで覚える。授 業で添削した本文の訳を確認し、音声を聞きな がら正確に発音できるよう練習する。(50分)
第3回 (4/25) 面接授業	1 Aの続き、 1 Aのリスニ ング問題、 「今月の問題 (4月)」	本文の発音練習、日本語訳。 入力練習。 リスニング問題で理解度を確 認。 HP上の「今月の問題」の解答と 解説。	予習:「A本文」の音声を聞き、続けてリスニング問 題を聞いて解答案を作成しておく。期日までに HP「今月の問題」の解答を送信。(50分) 復習:リスニング問題の問いと文形式での答えをセ ットで覚える。本文全体の訳をノートで再確認す る。(50分)
第4回 (5/9) 面接授業	1 B会話の学習	語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 入力練習。 Bの暗唱文10の発音練習。 自己紹介の発表。	予習:「B会話」の分からない語句は辞書で調べ、 全文の日本語訳を作成しておく。音声を聞いて、 発音練習。(50分) 復習:「B会話」の音声を聞いて、重要な10文を、暗 唱できるまで発音練習。(50分)
第5回 (5/16) 面接授業	第2課「留学に 行く」 2 A本文の学習	Bの暗唱文10の音読チェック。 語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 入力練習。	予習:「A単語を覚えましょう」で語句の意味を確認 し、さらに分からない語句があれば辞書で調べ る。「A本文」の音声を聞いて発音練習し、日本 語訳案を作成しておく。(50分) 復習:「A単語を覚えましょう」の重要語句をノートに 写し、簡体字・ピンイン・意味をセットで覚える。授 業で添削した本文の訳を確認し、音声を聞きな がら正確に発音できるよう練習する。(50分)
第6回 (5/23) 面接授業	2 Aの続き、 2 Aのリスニ ング問題、 「今月の問題 (5月)」	本文の発音練習、日本語訳。 入力練習。 リスニング問題で理解度を確 認。 HP上の「今月の問題」の解答と 解説。	予習:「A本文」の音声を聞き、続けてリスニング問 題を聞いて解答案を作成しておく。期日までに HP「今月の問題」の解答を送信。(50分) 復習:リスニング問題の問いと文形式での答えをセ ットで覚える。本文全体の訳をノートで再確認す る。(50分)
第7回 (5/30) 面接授業	2 B会話の学習	語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 入力練習。 Bの暗唱文10の発音練習。	予習:「B会話」の分からない語句は辞書で調べ、 全文の日本語訳を作成しておく。音声を聞いて、 発音練習。(50分) 復習:「B会話」の音声を聞いて、重要な10文を、暗 唱できるまで発音練習。(50分)

第8回 (6/6) 面接授業	第3課「北京 に着く」 3 A本文の学 習	Bの暗唱文10の音読チェック。 語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 入力練習。	予習:「A単語を覚えましょう」で語句の意味を確認 し、さらに分からない語句があれば辞書で調べ る。「A本文」の音声を聞いて発音練習し、日本 語訳案を作成しておく。(50分) 復習:「A単語を覚えましょう」の重要語句をノートに 写し、簡体字・ピンイン・意味をセットで覚える。授 業で添削した本文の訳を確認し、音声を聞きな がら正確に発音できるよう練習する。(50分)
第9回 (6/13) 面接授業	3 Aの続き、 3 Aのリスニ ング問題	本文の発音練習、日本語訳。 入力練習。 リスニング問題で理解度を確認。	予習:「A本文」の音声を聞き、続けてリスニング問 題を聞いて解答案を作成しておく。(50分) 復習:リスニング問題の問いと文形式での答えをセ ットで覚える。本文全体の訳をノートで再確認す る。(50分)
第10回 (6/20) 面接授業	3 B会話の学 習、 「今月の問題 (6月)」	語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 入力練習。 Bの暗唱文10の発音練習。 HP上の「今月の問題」の解答と解 説。	予習:「B会話」の分からない語句は辞書で調べ、 全文の日本語訳を作成しておく。音声を聞いて、 発音練習。期日までにHP「今月の問題」の解答 を送信。(50分) 復習:「B会話」の音声を聞いて、重要な10文を、暗 唱できるまで発音練習。(50分)
第11回 (6/27) 面接授業	第4課「開講 式とクラス分 け」 4 A本文の学 習	Bの暗唱文10の音読チェック。 語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 入力練習。	予習:「A単語を覚えましょう」で語句の意味を確認 し、さらに分からない語句があれば辞書で調べ る。「A本文」の音声を聞いて発音練習し、日本 語訳案を作成しておく。(50分) 復習:「A単語を覚えましょう」の重要語句をノートに 写し、簡体字・ピンイン・意味をセットで覚える。授 業で添削した本文の訳を確認し、音声を聞きな がら正確に発音できるよう練習する。(50分)
第12回 (7/4) 面接授業	4 Aの続き、 4 Aのリスニ ング問題	本文の発音練習、日本語訳。 入力練習。 リスニング問題で理解度を確認。	予習:「A本文」の音声を聞き、続けてリスニング問 題を聞いて解答案を作成しておく。(50分) 復習:リスニング問題の問いと文形式での答えをセ ットで覚える。本文全体の訳をノートで再確認す る。(50分)
第13回 (7/11) 面接授業	4 B会話の学 習、 「今月の問題 (7月)」	語句と本文の発音練習、日本語 訳。 語釈と文法ポイントの解説。 入力練習。 Bの暗唱文10の発音練習。 HP上の「今月の問題」の解答と解 説。	予習:「B会話」の分からない語句は辞書で調べ、 全文の日本語訳を作成しておく。音声を聞いて、 発音練習。期日までにHP「今月の問題」の解答 を送信。(50分) 復習:「B会話」の音声を聞いて、重要な10文を、暗 唱できるまで発音練習。(50分)
第14回 (7/18) 面接授業	最終テストお よびまとめ	Bの暗唱文10の音読チェック。 これまでの学習内容の総確認とま とめ。	予習:教材のプリント・ノート等を参照しながら、これ までに学習した内容のポイントを整理し、暗記す る。(50分) 復習:正しく答えられなかった問題を中心に、既習 内容を総合的に復習。(50分)